

教科	課題（現状、傾向、課題分析）	改善プラン（改善のための具体策や取組）	成果(○)と課題(△)
国語	<ul style="list-style-type: none"> 音読練習に意欲的に取り組む児童が多い。 自分の考えを話すことを苦手とする児童がいる。 文章や資料から必要な情報を読み取って文章の全体像をつかみ、それを基に考えたり、表現したりする力を高める必要がある。 文法、文字や語句、漢字の定着に個人差がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き音読練習に取り組ませ、内容を深く理解したり、語彙力や表現力を高めたりする。 友達と交流する場を多く設け、自分の考えを話したり、聴いてもらったりすることの楽しさを味わわせる。 文章のキーワードを知らせたり、内容を短い字数でまとめたりするなどの書き方を指導する。 書くことを習慣付けるとともに、詩や文章を考えたり、友達と読み合ったりして、表現力を高めていく。 文字や語句、漢字、文法のプリント等を繰り返し練習して定着を図る。 	
社会	<ul style="list-style-type: none"> 資料や生活経験から、身の回りにある社会的な事象について疑問をもち、学習問題を立てることができた。 資料（地図、写真、グラフ、年表など）を読み取る力や、問題の解決に向けて、読み取った情報を整理し、考える力を高める必要がある。 調べたことやそこから考えたことを、ノートやポスター、新聞、スライドなどに表現する力を高める必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の問いから学習問題を設定したり、学習したことを生活とつなげたりすることで、学習内容を自分事として捉え、より主体的に学習に取り組めるようにする。 資料を提示する際に、着目するポイントを指導する。様々な種類の資料を読み取る活動を積み重ねることで、それぞれの資料の見方を身に付けさせる。 調べた情報を、問いに対する答えになるように、比較したり関連付けたりする活動を取り入れ、情報を整理して考える力を高める。 手本となるノートやスライド等を紹介し、資料の読み取り方やまとめ方の良さを児童がイメージできるようにする。 単元のまとめの学習で作品を掲示したり、発表をし合ったりすることで、表現力を高める。 	
算数	<ul style="list-style-type: none"> 習熟度別に学習することで、一人一人に合った学習ができている。 既習事項を生かして問題解決に取り組んでいる児童と、そうでない児童がいる。また、コンパス、分度器などの活用が十分でない児童もいる。 自分の考えをノートに書けるようになってきたが、友達に分かりやすく説明する力を高める必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> けやきタイムなどに練習プリントに取り組み、基礎基本の定着を図ると共に、三角定規、分度器、コンパスの指導を適宜行い、適切に活用できるようにしていく。 考えをノートに書いたり、説明したりする経験を数多く取り入れる。 友達と話し合うなど対話的な活動を取り入れることで、分かりやすい説明の仕方を身に付けさせる。 	
理科	<ul style="list-style-type: none"> 実験や観察に、意欲的に取り組む。 実験や観察のねらいをつかめていない児童がいる。「電気」についての学習では、回路図を描けなかつ 	<ul style="list-style-type: none"> 課題を身近なものとして考えられるよう、実験や観察と実体験を結び付けて考えるよう指導する。 問題意識をもち、「根拠のある予想→実験・観察→結果のまとめ→考察→結論」の問題解決学習の流れが定着するよ 	

	<p>たり、実験が上手くいかない原因を見付けられなかったりする児童がいた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実験や観察の結果から考察し、身近な出来事と結び付けて考える力を伸ばす必要がある 	<p>うにすることで、探究の方法を知らせていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・根拠のある予想を立てる指導を重視する。考察の場面では、実験によって自分の予想を確かめることができたかという視点で、結果から分かることをノートに書くよう促す。 	
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・明るくはっきりした歌声が印象的な児童が多い。歌詞から様子を想像したり強弱の表現を工夫したりして歌う学習に取り組んだ。響きを含んだ自然な発声で歌う学習も続けていく必要がある。 ・リコーダーの息遣いに気を付けながら集中して演奏できる。歌とリコーダーを合わせることができた。 ・音符を見てリズムを理解し、打楽器で演奏することができる。拍の流れを感じ取り続けながら演奏する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・歌う姿勢のよさを続けられるように声かけし、発声練習から楽しく集中して歌えるようにする。曲へのイメージを膨らませて表現することで、よさや美しさを感じ取ることに繋げる。 ・低い音に続いて、サミングでの高音が吹けるように指導する。歌とリコーダーを合わせたときの聴き合う心がけを今後も指導する。 ・音符の仕組みの理解を今後も全体で確認し、演奏に生かせるようにする。やさしいリズムの時に速くなりやすいため、基準の拍を明示する音や伴奏を常に添えて拍を感じ取れるようにする。 	
図画 工作	<ul style="list-style-type: none"> ・見通しをもって活動することが難しく時間内に作品を仕上げるのが難しい児童がいる。 ・鑑賞で自分の作品や友達の作品の良さを見付けることが難しい児童がいる。 ・表したいものに応じて既習した技法を活用しようとする児童が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の流れを分かりやすく掲示したり、事前に完成までの期間を明示したりして見通しをもたせる。 ・教師が率先して作品の良い部分を伝え、児童に鑑賞するポイントを掴ませる ・これまで経験した技法を振り返ったり、目に見える形で掲示したりして、活用できるようにする。 	
体育	<ul style="list-style-type: none"> ・身体の動かし方に着目し、運動の内容に合った動きを具体的に思考し、判断して行動する力を高める必要がある。 ・自分の力を高めるために、見通しをもって運動に取り組む力を高める必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・掲示物や映像資料などを用いて、運動の内容に合った身体の動かし方や、運動の動きを具体的に意識して運動できるようにする。 ・本時の学習に見通しをもったり、いつでも振り返りしたりできるように、体育ノートを活用し、学習がより深まるようにする。 	
道徳	<ul style="list-style-type: none"> ・授業で取り扱う道徳的価値について、教材文や自己の経験から考えようとする姿がある。 ・教材文で取り扱われている場面を自分事として捉えて、自己の経験を振り返り、生活の中で生かそうすることに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・しっかりと考えようとしている姿を十分に認める。主題の確認をしたり、発問を工夫したりすることで、道徳的価値についての議論が活発になるようにする。 ・これまでの経験や、「自分ならどうするか」を児童に尋ねることで、学習内容を自分事として捉えられるようにする。 	
総合	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容に対して興味関心をもって取り組んでいる児童が多い。また、学習内容に対して、なぜその学習をするのかよく考えさせ、価値付けたことで、 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の単元は外部講師に指導をお願いすることでより専門的に学ぶことができるようにする。 	

	<p>主体的に取り組むことができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 学んだことについてポスターにまとめ、ポスターセッションを行った。内容をまとめたり、相手に伝わりやすく発表したりすることに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習したことを発表する経験をたくさん積めるようにする。発表後の振り返りを丁寧に行い、改善を図ることで相手に分かりやすい発表になるように指導する。 	
外国語活動	<ul style="list-style-type: none"> 英語の歌やゲームなどの活動、ALTや友達との交流を積極的に行う中で、英語に慣れ親しんでいる様子が見られる。 学んだことを活用して交流する際に、英語の表現を正しく使って伝えることに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 英語に慣れ親しんでいる姿を認め、褒めることで、学習に対する意欲や英語を使ってすすんで交流をしようとする気持ちを高める。 伝えたいことに関する英単語や表現を教え、復唱させることで、正しい表現を使って伝えられるようにする。 	